

事業について

- ▶ 事業概要
- ▶ SCOAP<sup>3</sup>
- ▶ OAJへの投稿調査
- ▶ 海外の動向
- ▶ 今期の活動
- ▶ 事業の記録
- ▶ 運営委員会

事業について

学術情報流通に関する国内外の動向

Plan S

欧州の研究助成財団・研究実施機関等は、2018年9月に、公的助成を受けた研究成果の完全で即時のオープンアクセスを実現するためのイニシアティブ、“cOAlition S”の開始を公表しました。

cOAlition S は“Plan S”という10原則を打ち立てて、同一イニシアティブの目標を2020年1月以降に実現しようとしています。さらに2018年11月には、Plan Sの10原則を実現するための要件が明確化され、それを満たすための手順をまとめたガイドランスが公表されました。

同一イニシアティブの開始が公表されて以降、10か国以上の助成機関がこれに参画（※1）し、また研究者等もPlan Sの原則を支持する（※2）一方で、既存の学術情報を担ってきた出版社や投稿先の制限を懸念する研究者等からは、批判的な見解（※3）も述べられています。

こうした一連の動向が、ヨーロッパの研究者コミュニティと共同研究を進める日本の研究者コミュニティをはじめ、国内ステークホルダーに将来的に及ぼす影響を考慮して、Plan Sとそのガイドランスを試訳するとともに、この方策の実質化を整理した参考資料を作成しました。

- [Plan S](#) (SPARC Japanによる試訳)  
- [Plan Sの実施に関するガイドランス](#) (SPARC Japanによる試訳)  
- [Plan Sに関する整理](#)  

- ※1 Funders and supporters  
<https://www.coalition-s.org/funders-and-supporters/>
- ※2 Open Letter in Support of Funder Open Publishing Mandates  
<http://michaeleisen.org/petition/>
- ※3 Reaction of Researchers to Plan S: Too Far, Too Risky  
<https://sites.google.com/view/plansopenletter/>